

東京CS

しんぶん

《第14号》

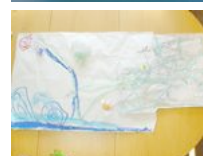
- テーマ「水知らずではいけない」
- テーマ「ゴミコントロール大作戦！」
- 筆耕見学



■テーマ「水知らずではいけない」

(たつツツー低学年クラス) 2005年12月5日～

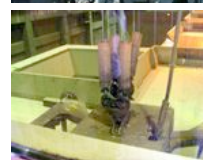
■毎日使っている水。水はどこから来て、どこへ行くのだろう。■道で見つけたマンホール。これは怪しい……。よくよく見てみると、「水道局」「汚水」「消火用水」など書かれてある。■どんなマンホールが多いか見てみると、圧倒的に下水（汚水）が多い。他に、上水や、中水と書かれたマンホールもありました。■浄水場の見学では雨水を、ろ過装置を通してきれいにする実験を見せてもらいました。ろ過装置と言っても、石や砂利を小さいものから順に、下に向かうほど大きめの石やじゃり敷き詰めただけのものでしたが、それでも水はかなり透明になることにびっくりです。■小河内ダムは透明度10メートルのきれいな湖でした。この下には、昔の集落がそのまま沈んでいて、ダムの貯水率が10%をきると、家の屋根が水面に現れるのだそうです。■水の流れマップが完成しました。集めたマンホールの写真にもちよくちよく登場する「再生水」という言葉。再生場という施設で家庭から出た汚れた水がキレイにされるといことが分かったものの、キレイになった水がどこに流れるかは分かりません。「給水場にもどると思うんだよね～分からないけど・・・」という予想と、「海に流れる！」という予想が出ました。



■テーマ「ゴミコントロール大作戦！」

(バンー中学年・高学年クラス) 2005年12月5日～

■生きている限り、ゴミを出し続ける人間。何がゴミなのか、どうしてゴミなのか。ゴミについて考えていきます。■物がゴミになる瞬間をつきとめるために、「必要←→不要」、「使える←→使えない」の分布図で、自分の出したゴミを分類してみました。■図書館で借りてきた本の中から、グラフや表、数字などで示されている箇所をピックアップして、明確な情報を拾い上げます。■コンビニから一日に450リットルもの燃えるゴミが出ているという発表を聞いていた時に、デパートから出るゴミの量を調べた子が「え？それだけ？」と言い、みなドキッとしました。デパートで一日に出るゴミの量・・・10トン！うわっ！■出されたゴミがどのように処理されるのかを確認するために杉並清掃工場に行ってきました。■清掃工場に運ばれたゴミがまず入るのがゴミバンカー。ゴミバンカーには最大6000トンものゴミが貯めておけるそうです。そのゴミは、UFOキャッチャーのクレーンのようなもので、焼却炉へ運ばれます。■クレーンは、人の手により操作されています。全自動ではないようです。子どもたちは、クレーンでゴミが運ばれる様子に興味津々。「おじさんたち UFO キャッチャーで練習してるの？」



■筆耕見学

2005年11月4日

■ザ・生活で習字を始めるに先立ち、習字を使った仕事「筆耕」の仕事場へ見学に出かけました。■筆耕の先生に、子どもたちの名前を書いていただきました。小筆から、コンピューターで印刷されたように整った文字が書き出されていく様に、子どももナビも驚愕。「すごーい!!」の連発でした。■先生に書いていただいた文字を机の上にきれいに並べています。「なんだか、書きたくなってきた」と感想をこぼす子ども。確かに、見ていると、無性に書いてみたくなってきました。不思議です。■わがままを言って、ひらがなと漢字両方で子どもたちの名前を書いていただきました。完璧なお手本ができました!!■毛筆が上達したら、先生へ感謝の手紙を出すことを約束して、筆耕の会社を後にしました。先生方、ありがとうございました!



東京コミュニティスクール Tokyo Community School

〒166-0012 東京都杉並区和田3-37-5 第5鴨下ビル(1F~4F/屋上)
TEL//03-3313-8717 FAX//03-5305-7234 E-mail//school@tokyocs.org
東京CSしんぶん 編集長//市川 力 編集委員//川口 誠

 <http://tokyocs.org/>